

最も危険な産業でいいですか？！！

農作業は、他の業種に比べて、死亡事故が多く、建設業とほぼ同じ死亡者数で、全体の従事者数を考慮すると大変危険な仕事です！

刈払機事故の4つの特徴

- 1 傾斜面・法面での滑りや転倒による事故
 - 傾斜地・法面は滑りやすい
 - ⇒ 小段の設置、スパイク靴の着用
- 2 回転刃の事故(接触、飛散物)
 - キックバックや小石、チップの飛散
 - ⇒ 防護の徹底、飛散物カバーを外さない
- 3 事前の環境確認で防ぐことができた事故
 - 草むらの中に潜む杭や空き缶など
 - ⇒ 慣れた場所でも事前確認
- 4 エンジン止めずに起こった事故
 - 回転を止めず、草の詰まりなどを除こうとして
 - ⇒ 確実にエンジンを切ってから

滑りやすい傾斜地だが、法面途中に足場や小段が設けてある。

《改善のポイント》

法面そのものの傾斜改善には、大掛かりな土木工事が必要となり、長い法面には小段を設けるのが現実的です。



《改善事例》小段の造成

<富山県の事例>

地元農協が中心となって行政や関係機関と連携して小段を設置。



飛散カバーなど、安全装置を装備して適切に使用している。



《改善のポイント》

安全装置には、飛散物防護カバー、緊急離脱装置、停止スイッチ、トリガー式スロットルなどがあり、適切な使用が重要です。

《追加のポイント》

刈払機の使用前に刃の固定を確認したり、定期的に機械の点検を実施することは、機械作業の基本です。

